

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年10月31日記入

基本目標	ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	22410
政策名(章)	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます	評価担当部	環境保全部
基本施策名(節名)	第4節 魅力ある公園づくり	評価担当課	公園課
施策名	みどりの核となる公園の整備	課長名	大房 薫

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

自由時間の増大やライフスタイルの変化に伴い、市民の余暇活動はますます多様化、高度化していく傾向にあり、特に家族での憩いや自然とのふれあい、健康への関心が高まっている。
 このため、みどりとふれあいや休養・散策の場となる個性的で魅力ある公園の整備を進める。
 相模原麻溝公園は、「花とみどり」をテーマとした本市を代表する公園であり、その機能の充実を図るため平成16年度から競技場の整備に着手しており、競技スポーツ・市民の健康づくりの拠点として段階的に整備を進める。古淵鷓野森公園は、スポーツレクリエーションや良好な自然環境を生かした地区公園として整備している。なお、効率的・効果的な管理運営を図るため、平成18年度より指定管理者制度を導入した。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		1,147,972	相模原麻溝公園及び古淵鷓野森公園の大規模整備事業に着手したため
人件費		51,118	
市民一人あたりの事業費	1,108	1,798	
合計	682,395	1,199,090	

*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

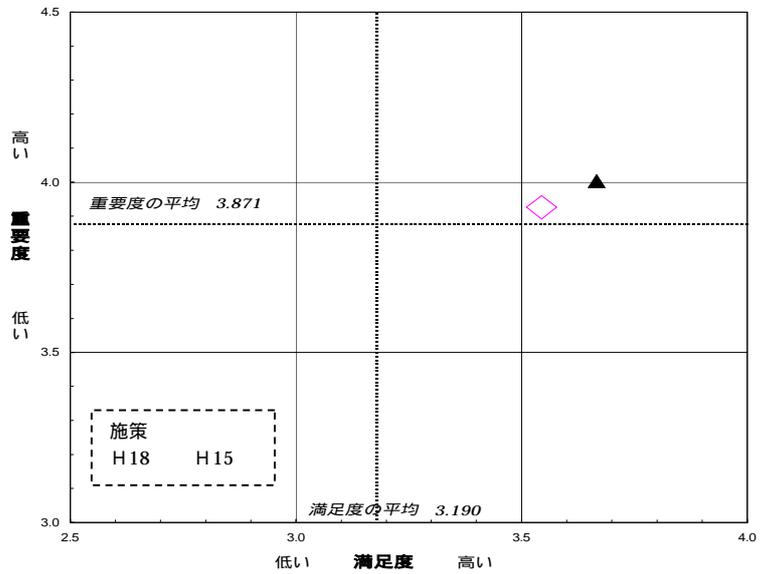
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	相模原麻溝公園競技場の整備面積	整備計画面積(3.72ha)に対する整備面積	0%	H15
指標2	古淵鷓野森公園の整備面積	整備計画面積(都市計画決定面積4.9haからプール部分を除いた4.61ha)に対する整備面積	0%	H16
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	1.6 / 1.6	19	3.07ha 82.5%	21	3.72ha 100%	最終年度までに第1競技場スタンド部分を整備する
達成率	100%					
指標2	0.67 / 0.67	19	2.3ha 49.9%	21	4.61ha 100%	平成17年度から5年計画で段階的に整備し全面供用する
達成率	100%					
指標3						
達成率	#DIV/0! %					
指標4						
達成率	#DIV/0! %					
指標5						
達成率	#DIV/0! %					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.544で51施策の中で1番目。
 重要度は3.927で23番目である。
 改善要望度は - 0.2113で40番目である。
 年齢別にみると、満足度、重要度ともに70歳以上で高く、30、40歳代で低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。
 満足度の順位では、ほとどの年代も1位となっている。
 重要度の順位では、40、50歳代で前回調査より上がり、60歳代で大幅に下がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4②1	市民ニーズを把握した施設整備や花やみどりに親しむイベントの開催により、市民生活にレクリエーションや自然とのふれあいの場を提供する事業を実施しているとともに、みどり豊かな、うるおいのある生活空間の創出や市民スポーツの振興に資するための公園整備事業を着実に進めている。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4②1	相模原麻溝公園競技場、古淵鷓野森公園とも平成16年度から新設された国庫補助金を導入し整備推進を図っている。また、整備内容の工夫や指定管理者制度を導入すること等により、事業の効率的な執行を行っている。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	④21	市民満足度調査では、平成15年度に引き続き満足度第1位となっており、さらに魅力ある公園づくりが期待されている。	
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	市民満足度調査では満足度が第1位となっており市民のみどりの拠点確保のニーズは高い。今後も整備が続く相模原麻溝公園競技場の早期整備や都市計画決定されている相模原麻溝公園の将来区域、城山中央公園の整備など多くの市民に親しまれるみどりの拠点づくりが課題。
解決策	みどりの拠点となる公園の整備には多大な事業費が必要となることから特定財源の確保に努めるとともに、都市計画決定されている公園について計画的な用地取得(土地開発公社先行取得を含む)を進める。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

設定された指標だけでは、施策全体の成果を表す指標となっていない。市全体の公園面積など、施策目的に適合した指標の設定を検討する必要がある。 今後とも、財源確保や計画的な用地取得に努め、市民ニーズに即した効率的・効果的な事業の推進を図る必要がある。	2次評価 B
---	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

